

# 表丹沢方面の自然公園情報

日付：令和3年10月5日（火）

コース：大倉 — 一本松（大倉尾根）

天気：晴れ

温度：22℃（13時頃、一本松付近にて）

外出が難しい方も多い社会状況ですが、パークレンジャーの活動情報を見てお楽しみください。

## <見どころなど>

●クモの巣にかかったトンボをハチ（キイロスズメバチ）が横取りしているようです。クモ（ジョロウグモ）は黙って見ているだけ。ハチはモグモグと口を動かしています。その間、何度もクモの巣に体が引っかかりますが、直ぐに振り払ってしまいます。スズメバチはクモの巣にはかかりにくいようです。しばらくすると、トンボの体が草むらの中にポトリと落ちてしまいました。ハチは草の上を巡回して探していましたが、すぐに諦めて飛んで行きました。



●コンコンコン、コンコンコンと森の中から音がするので覗いて見ると、くちばしで木の幹をつついていている鳥がいました。コゲラのようなのですが、繁殖の時期は過ぎています。木の幹の中にいる幼虫でも獲っているのでしょうか。



## <登山道情報>

● 大倉バス停脇に休憩所があります。そこにある掲示板から登山道等の情報が得られるので、出発前に確認していくと良いでしょう。ここ数年で丹沢でも被害が拡大しているナラ枯れの解説も掲示されていました。



休憩室の掲示板



ナラ枯れの解説



ナラ枯れの被害木

●大倉尾根には公衆便所が数ヶ所あり、一本松までの間でも観音茶屋と見晴茶屋の脇の2ヶ所にあります。山岳地帯にあると平地に比べて維持管理が難しく費用もかかります。使用した紙の持ち帰りとチップの支払いに協力をお願いします。



トイレ使用ルール



観音茶屋公衆便所



見晴茶屋公衆便所

●登山道はの上を流れる雨水によって少しずつ侵食が進んでいきます。一部に身長より深く掘れてしまった箇所もあります。その対策として雨水を排水する水切工を随所に設置しています。大倉尾根には高校の山岳部の生徒が、神奈川県と協定を結んだボランティア団体の指導を受けて設置した水切工があります。設置から数年経ちましたが、今もしっかり機能していました。



侵食のした登山道



高校生が設置体験した水切工



解説プレート